国際ロータリー第 2610 地区富山第三分区 東となみロータリークラブ

2014-2015 年度 第 1744 回例会「ロータリー財団月間にちなんで」

2014 年(平成 26 年)11 月 5 日 ロータリー財団委員会

山本武夫

「卓話資料：やさしいロータリー財団の話」…『ロータリーの友』より

1. 26 ドル 50 セントから始まった〈2012 年 9 月号〉

1917 年、当時、ロータリークラブ連合会(後の国際ロータリー)会長だった**アーチ・クランプ**は、アメリカ・ジョージア州アトランタで開催された年次大会で、「**ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で、慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか**」と提案しました。

彼の提案は、同大会で採択されました。ロータリー基金(ロータリー財団の前身)への最初の寄付は、1917 年、ミズーリ州カンザスシティロータリークラブから寄付された **26 ドル 50 セント**でした。

今日、世界のロータリアンから多額の寄付を集めるこの財団が、順調にスタートしたわけではなく、6 年が経って、基金の残高はやっと 700 ドルに達したにすぎませんでした。

その後、基金総額が **5,000 ドルに達した 1928 年のミネアポリス国際大会**で、この基金による事業開始の時が来たとして、基金の名称を**ロータリー財団**と改め、元 RI 会長からなる管理委員会が運営する**国際ロータリーから独立した組織**となりました。

1947 年 1 月 27 日、ロータリーの創始者**ポール・ハリス**が亡くなると、「**ポール・ハリス記念基金**」に多くの人々から寄付が寄せられ、翌年には海外で高等教育を受ける 18 件の奨学金が授与されました。これが**国際親善奨学金**の前身です。

2. 年次基金～「EREY」ってなに～〈2012 年 10 月号〉

「EREY」とは「Every Rotarian, Every Year」のことで、日本では「**毎年あなたも 100 ドルを**」として親しまれています。

言葉のとおり、「毎年すべてのロータリアンが年次基金へ寄付をすることでロータリー財団の活動に参加しましょう!」という寄付による参加を呼びかけるメッセージです。

年次基金は、ロータリー財団の活動を支える最も重要な資金源です。ロータリー財団の年次基金の特徴は、**寄付金を 3 年後の活動に利用**することです。これにより、ロータリアンは、寄付額が確定した後で、予算とプロジェクトの計画に時間をかけることができます。一方、財団はその間寄付金を投資し、収益により**管理運営費と寄付増進費**を捻出しています。

年次基金には、**シェアや 6 つの重点分野(*1)などの選択肢**があり、いずれも目標に対する達成額に含まれます。シェアを選択した場合は、**50%が DDF(District Designated Fund 地区財団活動資金)**、残りの 50%が**WF(World Fund 国際財団活動資金)**となります。DDFは寄付者の**地区で用途を決める**ことができ、**クラブが実施する奉仕プロジェクト**に利用できます。

2012-13 年度、世界における年次基金の**世界の目標額は 1 億 2,000 万ドル**です。世界的には「EREY」は年次基金に毎年 100 ドルを寄付することを目標としていますが、日本では田中作次 RI 会長年度の 1 昨年度、年次基

金一人当たりの目標を、昨年度達成の約 130ドルより少し上向きに「150ドル」と掲げました。

Every Rotarian, Every Year, あなたも世界でよいことをするために、参加しましょう！

3. 「恒久基金」ってなに？〈2012年11月号〉

ロータリー財団には、現在の活動を支える「年次基金」の他に、「恒久基金」という寄付もあります。恒久基金（英語では Permanent Fund なので PF と略されることもあります）は、その名称通り、恒久的にロータリー財団の活動を支え長期的な安定性をもたらすことを目的として 1982 年に設立されました。年次基金は寄付額と投資収益の両方が使用されるのに対し、恒久基金は元金（寄付額）は使用せず、投資収益の一部が財団活動に使用されます。

寄付者は「シェア」、「国際財団活動資金」、「ロータリー平和センター」「重点分野」のいずれかを選んで寄付することができます。シェアを選択した場合は、使用可能な投資収益の半分が地区財団活動資金（DDF）として地区に還元されますが、それ以外は指定した使途にだけ使われます。

また、寄付者は恒久基金に 2 万 5,000 ドル以上を寄付することで、「冠名基金」を設立することができます（例えば、「田中作次・京子ロータリー平和フェロウシップ基金」）。基金は永続するため、後世にわたり末永く支援することができます。2011-12 年度、世界で 99 件の冠名基金が設立されました。インド 33 件、アメリカ 28 件に次ぎ、日本では 12 件の冠名基金が新たに設立されました。

恒久基金日本委員会は、元 RI 理事の黒田正宏委員長をはじめ、日本で恒久基金を推進する役割を担う 11 人からなる委員会で、2012-13 年度、新規ベネファクターを各クラブ少なくとも 1 人（50 人以上の規模のクラブは少なくとも 2 人）を目標としています。世界では恒久基金を 2025 年までに 10 億ドルに成長させることを目標としており、2012 年 6 月 30 日現在、この目標は 75% 達成されています。

4. 財団の補助金

①**地区補助金** 地元地域や海外の地域社会のニーズに取り組む、比較的小規模で短期の活動を支えるための補助金です。補助金をどの活動に使うかは、各ロータリー地区が決定します。

- 人道的プロジェクト（奉仕活動を行うための現地への渡航や災害復興活動など）
- 奨学金（教育機関のレベルや場所、支給期間、専攻分野の制約なし）
- 専門職業をもつ人びとから成る職業研修チームの派遣（現地の人びとに職業研修を行うチーム、または現地で職業スキルを学ぶチーム）

②**グローバル補助金**（後述）ロータリーの重点分野のいずれかに該当する、持続可能で大規模な国際的活動を支えるための補助金です。

③**パッケージ・グラント** ロータリーと戦略パートナーによる活動に対する補助金

5. グローバル補助金に参加するには？〈2012年12月号〉

2013-14 年度からロータリー財団の補助金は地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラントの 3 種類になります。

グローバル補助金とは、実施国と実施国以外のクラブまたは地区が提唱者（スポンサー）となり、「平和と紛争予防／紛争解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「経済と地域社会の発展」の 6 つの重点分野に関連する、奉仕プロジェクト、奨学生、職業研修チーム（VTT）の派遣などを協力して実施するものです。

両提唱者およびその地区は、申請に先立ち参加資格認定を得ている必要があります。資金源は、地区財団活動資金(DDF)、現金、国際財団活動資金(WF)です。DDFに対しては100%、現金に対しては50%の割合でWFを申請できます。WFからの補助金は1万5千ドルから20万ドルですので、プロジェクト総額は最低3万ドルとなります。

グローバル補助金プロジェクトでは、ただ医療機器を送るだけではなく、それを生かすための研修、機械をメンテナンスする技術者の養成、機械を使う医療従事者の研修など、持続可能性をもたらす活動も求められます。

<グローバル補助金プロジェクト成功のための要素>

1) 持続可能性: 完了後も受益地域社会が自力で成果が持続できる。2) 測定可能性: いかに効果的であったか、基準を定めて成果の測定や評価を行うこと。3) 実施地の主導: 実施する受益地域社会が特定したニーズに基づいていること。4) 重点分野: 重点分野に関連していること

<クラブが参加資格を得るには>

クラブの参加資格は、年度ごとに地区から認定されます。

1) 会長エレクトまたはクラブが指定した代表者が、補助金管理セミナーに出席する。2) 「クラブの覚書(MOU)」を読み、これに同意し、クラブ会長と会長エレクトが署名したMOUを地区に提出する。3) 地区が定めた追加の資格要件に同意する。

グローバル補助金の申請手続きはオンラインで行います。申請書提出前に、地区ガバナーと地区財団委員長が、DDFの使用および参加資格の確認をします。プロジェクトが奨学金やVTTの場合、補助金申請書とは別に参加者の申請書が必要です。

6. ロータリー財団への寄付は、税優遇措置の対象になります (2013年1月号)

確定申告の時期が近づいてきましたので、今月はロータリー財団への寄付の税優遇措置について、紹介します。(公財)ロータリー日本財団を通して寄付をした場合、確定申告の手続きをすることにより、特定公益増進法人への寄付金として、税制上の優遇措置の対象となります。

* 個人の寄付

① 税額控除: 寄付額の約40%が戻るという画期的な税制が実現しました。

(寄付金 - 2,000円) × 40% (限度額: 所得の40%、または所得税額の25%) ロータリー日本財団への寄付を10万円しますと、約4万円が税額控除になります。

② 所得控除: 所得の額によって、所得控除の方が有利な場合もありますので、ご確認ください。

* 法人の寄付

税制改正により計算式が変わり、損金算入限度額が拡大しました。

① 一般限度額

$(\text{所得} \times 2.5 / 100) + (\text{資本金等} \times 2.5 / 1,000) \times 1/4$

② 公益増進法人特別限度額

$(\text{所得} \times 6.25 / 100) + (\text{資本金等} \times 3.75 / 1,000) \times 1/2$

③ 国、地方公共団体は、寄付金額

①②③の合計が損金算入限度額

一般限度額は半分に縮小し、公益増進法人限度額は、5割増しに改正されています。

* 都道府県・市町村の控除

条例での指定状況は都道府県によって異なりますが、一部の都道府県・市区町村では条例の指定により、公益財団法人ロータリー日本財団への寄付金に対し、個人住民税の税額控除が受けられます。

*慈善年金、ネクタイなどの寄付を除く。

*送金明細書は実際の寄付者名を記入します。法人からの

寄付の場合は、送金明細書に法人名を記入ください。領収証の書き換えはできませんので留意ください。

7. 感謝の意を伝える機会『認証』〈2013年2月号〉

「ポール・ハリス・フェロー」や「ベネファクター」という言葉を聞いたことがあると思います。これは何のことだと思いますか。寄付の種類と考えている方も意外と多いようですが、「ポール・ハリス・フェロー」や「ベネファクター」は寄付の種類ではなく、ロータリー財団の「認証」を表しています。

「認証」とは寄付額がある一定の額に達した個人に感謝を表すもので、認証されるとピンや認証状などの「認証品」が贈られます。今では寄付の記録に基づき自動的に認証されるので、特に申請の必要はありません。最初の「認証」は、ロータリーの創立者ポール・ハリスをたたえ1957年に設けられた「ポール・ハリス・フェロー」で、「認証品」にはポール・ハリスの肖像が描かれています。現在、世界で130万人以上が「ポール・ハリス・フェロー」になり、寄付の種類や寄付額によって認証の種類も増えてきました。例えば、年次基金やポリオ・プラスに1,000ドル寄付すると「ポール・ハリス・フェロー」になりますが、さらに寄付額が大きくなると「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」や「大口寄付者」となります。また、恒久基金に1,000ドル以上寄付すると「ベネファクター」になります。

他に、クラブを表彰する「100%財団の友クラブ」や「毎年あなたも100ドルを(Every Rotarian Every Year)クラブ」のような認証もあります。「100%財団の友クラブ」は一人ひとりが年次基金に100ドル以上寄付して正会員全員が「財団の友」になったクラブに贈られ、「毎年あなたも100ドルを(EREY)クラブ」は正会員全員が年次基金にいくらかの寄付をしてその平均が100ドル以上になったクラブに贈られる認証です。

「100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ」はクラブ会員全員が「ポール・ハリス・フェロー」になったクラブの認証ですが、これだけは申請したクラブに一度だけ贈られます。

認証品は認証者にクラブの例会など公の場で贈呈されることが多いので、寄付者にとって励みにもなり目標にもなります。あなたもポール・ハリスのフェローになることから始めませんか。

8. 認証ポイント 〈2013年3月号〉

年次基金、ポリオ・プラス、承認済みのマッチング・グラントやグローバル補助金への寄付など、ポール・ハリス・フェローの対象となる寄付をすると、1ドルにつき1ポイントの「認証ポイント」が寄付者につきます。寄付者はこの認証ポイントを移譲して、他の寄付者がポール・ハリス・フェローやマルチプル・ポール・ハリス・フェローの認証を受けるのを、支援できます。

例えば、初めて500ドル寄付するAさんに、500ポイントを移譲すると、Aさんはポール・ハリス・フェローになります。また、会員でない方で大きく貢献した個人をポール・ハリス・フェローとして認証し、たたえることができます。

認証ポイントを使用するには、寄付者の承認が必要です。個人のポイントについては、寄付者本人が「認証ポイント使用申請書」に署名をします。亡くなったメジャードナーに限り、配偶者も承認できます。同様に、クラブのポイントの場合はクラブ会長が、地区のポイントの場合は地区ガバナーが申請書に署名し、国際ロータリー日

本事務局に提出します。

認証ポイントの活用によって 100%ポール・ハリス・フェロー・クラブになることはできますが、ポイントは寄付ではないため、一人あたりの寄付額やメジャードナー、Every Rotarian Every Year クラブ、100% 財団の友クラブの認証の対象にはなりません。

現在の認証ポイントは、会員アクセスページの「あなたの寄付記録」の Donor History Report から確認できません。Foundation Recognition Points(財団認証ポイント)は使用(移譲)できるポイントの額です。クラブの場合は、認証要約書(Club Recognition Summary)の Foundation Recognition Pts Available(財団認証ポイント)で確認できます。これまで認証ポイントを使ったことがないあなたも、認証ポイントの有効活用を考えてみてはいかがでしょうか。

9. ロータリー平和フェローシップ 〈2013 年 4 月号〉

ロータリー平和フェローシップは、世界の提携大学におかれたロータリー平和センターにおいて平和と紛争解決の分野での研究を支援する奨学金です。このプログラムの奨学生はロータリー平和フェローと呼ばれ、毎年約 110 人が、修士号取得または 3 か月の専門能力開発修了証プログラムに参加します。

現在次の 7 つの大学に 6 つのロータリー平和センターがあります。

修士号取得プログラム

- ・ウプサラ大学(スウェーデン)24 か月
- ・ブラッドフォード大学(イギリス)15 か月
- ・クイーンズランド大学(オーストラリア)16 か月
- ・国際基督教大学(日本)22 か月
- ・デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校(アメリカ)21 か月

専門能力開発修了証プログラム

- ・チュロンコン大学(タイ)3 か月

ロータリーは、2002 年に第 1 期生が留学を開始してから、毎年平和と紛争解決の分野を研究するフェローの支援をしてきました。卒業した学友は 700 人を超え、その多くが NGO や政府組織など平和と紛争に関わる分野で活躍しています。この 10 年間で日本の地区の推薦を受けロータリー平和センターで学んだ学生は 25 人ですが、ここ数年は申請も毎年 2~3 人、実際に留学したフェローは 1 人だけという年もあり減少傾向にあります。

関連分野における 3 年(修了証プログラムは 5 年)以上の職務経験が必要ですので、紛争地域ではない日本で候補者を探すのは難しいかもしれません。また、紛争当事国からの候補者の中には私たちの想像を超えるような経験や強い平和を望む気持ちを持っている方もいます。

しかし、紛争のない状態を維持し、平和を継続するには平和の体験も必要です。日本の候補者は紛争しか知らない人たちが思い描くことのできない平和な生活、そのありがたさ、それを維持するために必要な譲歩や争いを避けながら問題を解決する手段を知っています。

ロータリアンは多くの人とつながりを持ち、国際的な会合に出席する機会も多いと思います。ぜひ潜在的な候補者やつながりのありそうな出席者が集まる場を活用し、平和と紛争解決の分野で将来のリーダーとなる人材を探し、さらなる飛躍へのきっかけとしてこのプログラムにご参加いただけるようにご支援ください。

なお、国際ロータリー日本事務局で無料のパンフレット(資料番号 084)が入手できます。申請書(資料番号 083)

は国際ロータリーのウェブサイト www.rotary.org をご覧ください。英語版の申請書をロータリー財団へ7月1日までに提出します。地区の参照用には日本語版も利用できます。

注* 2つの大学で一つのロータリー平和センター

10. 遺贈友の会とは〈2013年5月号〉

「遺贈友の会に入りませんか?」。そんな声をかけられたら、あなたはどのように感じますか? 縁起でもない、と眉をひそめられる方もいるかもしれません。でもよく考えてみてください。皆さまのロータリアンとしてのご活動の目的は、現在だけではなく、未来の子どもたちのために、世界をより良い場所に変えていくことではないでしょうか。遺贈は、あなたが人生を終えて見ることもない未来へ、贈り物をする機会です。

遺贈とは、遺言により財産の全部または一部を無償で譲与することです。自身の遺産計画で、遺産の一部の受取人としてロータリー財団を指定することにより、ロータリー財団に寄付をすることができます。また、ロータリー財団への遺贈額を1万ドル以上に指定された場合には、「ロータリー財団遺贈友の会」に入会することができます。現在、日本には210人以上の遺贈友の会会員がいます。

遺贈による寄付はロータリー財団の恒久基金へ積み立てられ、元金は使われることなく維持され、その投資収益の一部だけが、財団プログラムのために永遠に利用されていくこととなります。また、寄付者の関心に応じて、寄付の使い道を以下の目的の中から選ぶことができます。

- 国際財団活動資金
- シェア(地区財団活動資金+国際財団活動資金)
- ロータリー平和センター
- 6つの重点分野(平和と紛争予防/紛争解決、疾病 予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展)

遺贈友の会の認証

遺贈友の会会員は、ロータリー財団管理委員会からの認証を受けます。寄付額に応じて、遺贈友の会のピンと名前が刻まれたクリスタルが贈られます。また、金額を問わず、ベネファクターとして認証されます。

11. メモリアル・コントリビューション〈2013年6月号〉

「メモリアル・コントリビューション」をご存じですか。身近な方が亡くなった時に追悼の気持ちを寄付にするもので、ロータリーらしい方法です。お世話になった会員や恩師をしのいで寄付することもあります。日本では亡くなったご家族のためにすることが多いようです。

「メモリアル・コントリビューション」は寄付の種類や金額は問いません。「メモリアル・コントリビューション」として年次基金に寄付することもできますし、ポリオ・プラスなどに用途を指定して寄付をすることもできます。

「メモリアル・コントリビューション」の寄付をすると、寄付者にロータリー財団からお礼状が送られます。ご家族以外の方が寄付者の場合、故人のご家族にも手紙が送られます。「メモリアル・コントリビューション」の寄付をすることで故人への哀悼の意を表すとともに、世界の恵まれない人々のために食糧やきれいな水、薬を提供したり、ポリオの撲滅に貢献することができます。皆さまの善意が希望への懸け橋となるのです。

故人や亡くなった会員のご家族にポール・ハリス・フェローなどの認証を贈ることもできます。詳細は、日本事務局財団室までご相談ください。〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル24階

電話 03-5439-5805 Fax 03-5439-0405